

令和3年1月市議会臨時会 提案説明（1月29日提案）

本臨時会に提案いたしました議案につきまして説明申し上げます。

議案第3号は、一般会計の補正予算を提案するものです。

国内で、新型コロナウイルスの感染者が初めて確認されてから、一年余りが経過しました。昨年秋から続く第三波の影響により、大都市圏を中心に新規の感染者が激増するなか、県内においても西部で、年末から年明けにかけて複数のクラスターが同時に発生し、鳥取市保健所管内でも、1月に入り、昨日までに新たに18名の方の感染が確認されるなど大変厳しい局面を迎えています。

今こそ全市民が、改めて、コロナに打ち克つという強い気持ちを持ち、引き続き、気を緩めることなく、感染防止・感染拡大防止に取り組んで行かなければならない時だと思えます。市民の皆様には、改めて、マスクの着用や手洗いの励行、密閉・密集・密接のいわゆる3密を避ける行動など感染防止の基本動作を徹底していただくようお願いいたします。

国においては、昨日28日、第3次の補正予算が成立し、感染症問題の長期化により甚大な影響を受けている、市民生活や地域経済に対する対策を講じていくこととなりました。このたびの補正予算は、この国の第3次補正予算、令和3年度予算と合わせた、いわゆる15か月予算に速やかに呼応し、ワクチン接種や地域経済の下支えなど急がれる対策について、2月定例会を待たずして、遅れることなく速やかに実行に移そうとするものです。

市民の皆様を少しでも解消し、明るい未来に向け、一緒になって歩いていくことができるよう、引き続き、感染拡大防止と社会経済活動の両立に、全庁一丸となって、全力で取り組む決意であります。

はじめに、「感染防止、感染拡大防止」の取り組みです。

新型コロナウイルスワクチンについて、国は、2月中旬には承認され、2月下旬から医療従事者向けの先行接種、4月以降高齢者向けの優先接種の方針を示しています。本市としましても、国の動きに呼応し、全市民への迅速かつ適切なワクチン接種に向けて、1月20日に組織体制を強化し、県や医療関係団体と連携しながら準備を進めているところであり、接種費用をはじめ、接種券の発行、相談体制の充実、接種会場の確保などを行うための経費を計上しています。また、感染拡大を防ぐための積極的なPCR検査の実施、市民の皆様を感染から守るための衛生用品を継続して配備するための経費を計上しています。

次に、「地域経済を支える」取り組みです。

長引くコロナ禍の影響により、地域経済は厳しい環境に置かれています。国の雇用調整助成金制度の特例期間が延長されたことに伴う、申請手続き代行への継続支援、停滞する観光需要を喚起するための支援、地元製品の販売促進を進めるための経費を計上しています。また、市民の皆様が移動手段確保のため、利用者が減少するなか、運行継続している路線バス事業者を支援する経費を計上しています。

以上、今回提案いたしました議案につきまして、その概要を説明申し上げます。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。